

# 森の学校だより

R ろうきん

森の学校

ろうきん森の学校 2015年度 活動報告

interview / Gifu  
「グリーンウッドワーク」で  
木育に取り組む

11年目に突入！

11

20

2005-2024 労働金庫連合会 × NPOの20年にわたる環境教育

# FUKUSHIMA



## 次の10年に向けた体制作りを!

### STAFF VOICE



いわきの森に親しむ会  
木田 理事長

栗園跡地 (2.5ha) の再生整備計画を策定することができ、その一部について実施しました。整備後の維持管理体制づくりが今後の課題です。

### 体験型見学会



森林と市民を結ぶ全国の集いエクスカージョン (体験型見学会) をいわき地区で実施。多くの若者の参加を得ることができました。ここで話し合った内容を今後の森づくりに活かしていきたいです。

### 森の学校体験



毎月第3日曜日に開催しています。自然観察会、森づくり・木工クラフトといった各種体験活動、季節の野外料理体験の3本立てで行っており、どなたでも参加できます。

福島県  
いわき市は  
こんなところ!



### 参加者の声

栗園跡地に植樹されたクスギなどの保育作業に参加しました。ススキをはじめ、雑草の伸び具合の速さは想像以上でした。植樹後の手入れの大変さがこれほどとは思いませんでした。(海岸林整備参加者)

50年前に当時14市町村が広域合併して誕生。面積が神奈川県1/2と広く、森林面積は福島県平均より多い72%を占めています。山・川・海を一体的に体験でき、多様な自然体験活動が可能です。

## FUKUSHIMA's column



### 東日本大震災からの復興

2012年より、地元NPOと協働で、海岸林整備作業に取り組んでいます。2015年度は、新たに地元企業も参加。10年以上の取り組みになるので、保育を中心とした体制作りを目指します。



### 福島地区の自然エネルギー施設

自然エネルギーを体験してもらうため、風力・太陽光・水力発電設備の他、木質バイオマス利用のための石窯・炭窯・燻製窯、ソーラークッカー等を整備。現在、水車による石臼小屋作りに着手しています。



NPO法人 いわきの森に親しむ会

〒972-8326

福島県いわき市常磐藤原町湯ノ岳2湯ノ岳山荘内

<http://iwaki-mori.jimdo.com/>



## STAFF VOICE



野外教育学修センター  
魚沼伝習館

坂本 理事長

里山の整備と利活用は団体設立以来の課題です。2015年度はろうきん森の学校の取り組みにより、人・もの・金のバランスを取り入れ、有意義な取り組みとして形が見えてきました。

新潟  
地区

## スタッフのスキルアップに取り組む!

### 開校式



「ろうきん森の学校」の開始を記念して開校式を実施しました。労働金庫や地元団体の関係者、地域住民ら約60名を招き、これからの事業促進に向けて交流を深めました。

### 山まめキャンプ



辻又の豊かな自然を使った1泊2日から4泊5日までのキャンプです。長い歴史を持つ集落の散策をしたり、辻又川で川遊びをしました。街灯がほとんどない辻又で見上げる星空は、最高にきれいでした。

新潟地区に

## 木材加工所が完成!



2~3年後にはここでツリーハウスや木工品の製作を目指します。さらに新潟労金の店舗内にもここで作られた木製品が導入できるようにしたいです。2015年度に間伐材を乾燥させ、2016年度は製材を実施します。

### 参加者の声

木を切ってストレスが解消でき、活動後のビールが美味しい!  
(山林整備『辻又の守人』参加者)

## NIIGATA's column



### 辻又集落の紹介

辻又集落は、約800年昔に平家と源氏の落人が隠れ住んだことが集落の発祥と言われています。集落のほとんどが森と田畑に囲まれた自然豊かな場所で、田舎の景色が色濃く残っています。



### 山林整備で使う道具紹介

60年以上人手の入らなかった山に、スタッフはひたすら刈り払い機とチェーンソーで皆伐し、参加者はナタとノコギリで枝打ちや根っこ掘りに取り組みました。2016年度からは伐採木を運び出すための作業道を整備します。林内作業車が活躍するかも!?



NPO法人 野外教育学修センター 魚沼伝習館  
〒949-7319  
新潟県南魚沼市市野江丙661

<http://www.uonuma-denshukan.com/>



## 木という素材の 小さな経済循環づくりを目指す！

### フジモックフェス



「生活」と「森」の新しい関係の構築＝「森の日常化」を目指す、体験・学習・思考・加工プロジェクト。最新のデジタル工作機器の活用も学びながら、「木」という素材の可能性にチャレンジします。「ウッドデザイン賞 2015」受賞。

### 森林 CSR フォーラム



「CSR とは何か」というテーマを紐解きながら、「森林資源の活用」を通じて環境・経済両面から森を持続的に守り育てていくことの可能性について、企業・行政・NPO・土地所有者等が一堂に会し、議論しました。

### 参加者の声

森や里の自然、そこでの暮らしなどについて、楽しく体験させてもらっています。新しい発見や刺激があり、子どもと一緒に飽きさせない工夫が施されていて、安心して参加することができます。(里山のようなちえん参加者)

## FUJISAN's column



### フジモックフェスの作品例

参加者の多くは「デザイナー」や「クリエイター」と呼ばれる人々です。ヒノキの輪切りは「乾燥の過程で割れる」という固定観念を覆し、乾燥方法を試行錯誤しながら「割れない輪切り」を開発し、起業しました。

### 森林 CSR の事例

富士市で材木屋として創業、その後ホームセンターを県内各地に展開させている株式会社エンチャー。ろうきん森の学校活動地に隣接した森で森林整備活動を開始しました。ホームセンターらしく、伐った木をDIYの視点で活用しています。



### STAFF VOICE



ホールアース研究所  
山崎 代表理事

これまでの 10 年を経て、たくさんの方々が生まれ、そこにたくさんの人々が集ってくれました。ろうきん森の学校が地域の財産として定着してきていることをスタッフ一同が実感しつつ、新たな 10 年をスタートさせています。

### 富士山地区の特色

## 竹林整備



放置竹林の繁茂による影響が広がっています。竹林整備は「共同で作業をする」「社会課題を認識する」「未利用資源を有効活用する」などのキーワードを内包しています。これらは企業等が実施する研修に応用させることができるため、近年、「竹林整備 × 研修」の需要が増えています。



NPO法人 ホールアース研究所

〒419-0305

静岡県富士宮市下袖野165

<http://wens.gr.jp/>

# HIROSHIMA

広島  
地区

## 先を見据えミッションを再構築！

### 48時間防災キャンプ



2014年8月に発生した広島市豪雨土砂災害の教訓を受けて、初めて防災キャンプを開催。キーワードは「工夫」と「協力」で、発災直後の48時間をどのように乗り切るかを、アウトドアスキルの修得や生活の工夫、私の防災グッズリストづくりなどの視点で学びました。

### 10周年記念事業



中国労金、広島県労協などから約70名が参加。IIHOE代表の川北秀人さんによる「未来に備えるCSRと森づくり・人づくり」と題した基調講演、岡山県真庭市「真庭・トンボの森づくり推進協議会」や鳥取県智頭町「森のようちえんまるたんぼう」の取り組みを聞き、今後の活動のヒントを探りました。

### STAFF VOICE



ひろしま自然学校  
志賀 代表理事

防災キャンプやオトナ女子のリフレッシュキャンプなど、新しいプログラムにチャレンジしたほか、第2期の10年に向けて、活動の充実を期するため、拠点となる管理棟をリニューアル。木造2階建ての新事務所が完成しました。

また、地元テレビ局と共催事業を開始し、森の学校の広報活動にも力を入れた1年となりました。

広島地区の  
おすすめスポット

## 万代池



森の学校のフィールドの真ん中に位置する約2ヘクタールのため池。こぞってハウスや作業小屋から池全体が一望でき、訪れる人の心の安らぎの風景となっています。アオサギ、シラサギのコロニーがあったり、冬にはカモなどの休息地になっており、多くの生き物が利用しています。

### 参加者の声

防災・減災は日頃からの備えがとて大事だということや隣近所との付き合いの大切さを実感した。帰ったら町内会に加入したい。  
(48時間防災キャンプ参加者)

## HIROSHIMA's column



### いざという時役立つ防災グッズ紹介

#### 手回し式ラジオ

手回し式充電でライト、ラジオ、携帯電話の充電器、警告音など、マルチに活用できるラジオです。発災直後の停電などに備えて是非1台は常備しておきたいグッズです。

### 広島地区で見られる生き物図鑑

#### ツキノワグマ

森の学校のフィールド内に生息しているというより、周辺の山を移動する際や一時的な餌場として利用しています。2013年には、森の学校から約2kmの地点で直接視認されているほか、センサーカメラでは親子熊が撮影され、この地域における繁殖が明らかになりました。



NPO法人 ひろしま自然学校

〒733-0012

広島市西区中広町2丁目24-5-302

<http://moricafe.sakura.ne.jp/>



皆さん、最近森で遊んでいますか？「近くに森がない」「森があっても誰の所有かわからないので勝手には入れない」そんな話をよく聞きます。「危ない」「虫や動物が怖い」という否定的な意見も聞かれます。岐阜地区はそんな方々に気軽に立ち寄ってもらえる場所を提供し、森の楽しみ方を提案します。

# 「グリーン ウッドワーク」で 木育に取り組む



岐阜  
地区

2015年から新たに加わった岐阜地区。清流長良川と古い町並みが残る美濃市に拠点を置く、NPO法人グリーンウッドワーク協会 小野敦理事長にお話を聞きました。

「グリーンウッド」とは「生木（なまき）」を意味します。「生木」とは、森から伐採したばかりの乾燥していない木のことです。その生木を伝統的な手工具を使い、割ったり削ったりしながら小物や家具をつくるものづくりを「グリーンウッドワーク」といいます。自分の手で生木を削るその作業は、一度味わうと忘れられない独特の感触です。

この楽しさをさらに多くの人に広めることを目的として、NPO法人グリーンウッドワーク協会は、森と木に関わるスペシャリストを育成する専門学校、岐阜県

立森林文化アカデミーの教員や学生生涯学習講座の参加者が中心となり2008年に設立されました。

岐阜県美濃市で定期的に講座や研修会を開催する他、全国各地の自然学校などからの依頼で出前講座にも出かけています。また、2010年には「竹部会」を設立し、竹細工を通じて美濃の地に伝わる知恵と技術を次の世代につなぐ活動にも取り組んでいます。

**各地を転々とする生活から、地に足のついた暮らしへ。**

以前は、大手製鉄会社において主にプラント建設の現場管理業務に携わっていました。全国各地を転々とする転勤生活が続きましたが、40歳を機に地に足のついた生活を求め、岐阜県立森林文化アカデミーの門戸を叩きました。

2年間のアカデミーでの学生生活の中で、動植物の生態調査や里山環境を再生するための研究を行う傍ら、子どもを対象にした環境教育プログラムや木育講座の運営に参加しました。その中で、かつて人が利用することによって豊かな生態系が保たれてきたこと、里山の多様な植物を先人たちが適材適

所で利用していたことなどを初めて知りました。荒廃した里山の現状を目の当たりにし、その打開策を模索する中、現代のライフスタイルに合わせた里山の利用の切り札としての「グリーンウッドワーク」と出会い、NPOの活動に参加しました。

アカデミー後半の2年目は木工修行に当てました。この2年間で森の樹を見て、使う、そして人に伝える技術を習得しました。卒業後はNPO職員となり現在に至ります。

## ものづくりを中心とした 里山づくりと

子どもを真ん中においた

まちづくり





NPO法人 グリーンウッドワーク協会

〒501-3701

岐阜県美濃市2973番地1

<http://www.greenwoodwork.jp/>

岐阜県美濃市は  
こんなところ！



ろうきん森の学校岐阜地区の位置する岐阜県美濃市は、清流長良川の自然と古い伝統が息づくまちです。手漉き和紙の「本美濃紙」がユネスコの無形文化遺産に登録されたほか、「清流長良川の鮎〜里川における人と鮎のつながり〜」が世界農業遺産に認定されました。



森工塾 (もっこうじゅく)



「森に親しむ里山の暮らし講座」と「グリーンウッドワーク・竹細工講座」を実施。森の恵みを活かした食の講座、伐採した樹木や竹をその場で加工するものづくり講座などを定期的に開催しています。

もうひとつは「子どもを真ん中に抱いたまちづくり」。美濃市の有志と連携しながら子どもたちの集える場所づくり

1年目の昨年は椅子づくりにも実施しています。栗の実を採取し、現在苗を育てています。10年間というスパンで取り組むろうきん森の学校ならではの活動です。

「美濃市古城山環境保全モデル林（通称：古城山ふれあいの森）」は、平成24年に岐阜県の「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用して整備されました。モデル林事業は、既存の林業では採算が合わず放置されている里山林において、環境への配慮と森林資源を活用した新たなビジネスの創出により、里山再生手法のモデルを確立し全県への展開を図ることを目的としています。

私たちがろうきん森の学校を通じて取り組むキーワードは、大きく分けてふたつ。ひとつは「ものづくりを中心とした里山づくり」です。グリーンウッドワークを始めとするものづくりの材料を身近な森から採取して、自らの手で加工し、暮らしにつながる一般向けの講座「森工塾」(もっこうじゅく)を定期的に開催します。また、有用な樹種を選択的に育成していく「ものづくりの森」プロジェクトも実施しています。

遊ぶ子どもたちの目の輝きを実感することでしょう。

子育てでも同じです。ゲームばかりするのではなく、親子で一緒に森に足を運んでみてください。バーチャルな世界を飛び出し自然の中に身を置くことで、次に何が起ころのかドキドキワクワクする想像力、危険回避能力、自然への畏怖の気持ちなどを身に着けることができます。なにより大自然の中で遊ぶ子どもたちの目の輝きを実感することでしょう。

まずは森に親しむところから始めましょう。そうやって森に通ううちに、森や木や自然のことをより深く知ることができるようになります。

椅子づくり



森づくり



グリーンウッドワーク講座の一番人気は椅子づくり講座。3日間で作る小さな腰かけ椅子から、6日間の本格的背もたれ付きの椅子まで、メニューは様々。ゆったり森の時間を過ごす椅子づくり合宿はいかがですか。

私たちが目指す森づくりは「現代版の里山」。ものづくりの材料となる木、食べられる実や山菜のなる木を増やし、ミツバチやカブトムシの棲む森、原木マイタケ栽培によるきのこの森づくりに取り組んでいます。

# ACTION

2015年度までの活動実績



## 2015年度末までに、 13万人を超える方が参加しました。

開校から11年が経ち、2地区増えたことにより、のべ参加者数は13万3,800人を超えました。地区別に見ると、先行の3地区では福島地区が約8,000人、富士山地区が約4,000人、広島地区が約2,500人と、それぞれの参加者数は安定してきています。

一方、開校1年目の新潟・岐阜の新たな2地区は、1,100人から1,500人程度にとどまり、基盤整備や体制作りが待たれます。

## 4つの分野で、活動をさらに深化させています。



人材の育成  
ブレイリーダー養成ユースキャンプ  
(広島地区)



豊かな里山の再生  
海岸林の再生  
(福島地区)



自然体験プログラムの実施  
アマゴのつかみどり  
(富士山地区)



ろうきん関係者への研修実施  
グリーンウッドワーク体験  
(岐阜地区)

# INFORMATION & ACCESS

お問い合わせ先・アクセス

### 福島地区

NPO法人 いわきの森に親しむ会

〒972-8326  
福島県いわき市常盤藤原町湯ノ岳2湯ノ岳山荘内  
Tel. 0246-44-3273 / Fax. 0246-44-3273  
Mail yunodake@gray.plala.or.jp  
Web iwaki-mori.jimdo.com/

活動拠点(現地)までのアクセス

電車 JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分  
車 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分

### 新潟地区

NPO法人 野外教育学修センター魚沼伝習館

〒949-7319  
新潟県南魚沼市市野江661  
Tel. 025-793-7320 / Fax. 025-793-7321  
Mail info@uonuma-denshukan.com  
Web www.uonuma-denshukan.com/

活動拠点(現地)までのアクセス

電車 JR上越新幹線「浦佐駅」よりタクシー20分  
車 関越自動車道小出I.C.より30分

### 富士山地区

NPO法人 ホールアース研究所  
(ろうきん森の学校 全国事務局)

〒419-0305  
静岡県富士宮市下柚樹165  
Tel. 0544-66-0790 / Fax. 0544-67-0567  
Mail forest@wens.gr.jp  
Web wens.gr.jp/

活動拠点(現地)までのアクセス

電車 JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分  
車 新東名高速道路新富士I.C.より40分

### 岐阜地区

NPO法人 グリーンウッドワーク協会

〒501-3701  
岐阜県美濃市2973番地1  
Tel. 090-4793-9508  
Mail greenwoodworker@gmail.com  
Web www.greenwoodwork.jp/

活動拠点(現地)までのアクセス

電車 長良川鉄道「梅山駅」より徒歩5分  
車 東海北陸自動車道美濃I.C.より15分

### 広島地区

NPO法人 ひろしま自然学校

〒733-0012  
広島市西区中広町2丁目24-5-302  
Tel. 082-208-4146 / Fax. 050-1029-6367  
Mail nkk5408@gmail.com  
Web moricafe.sakura.ne.jp/

活動拠点(現地)までのアクセス

電車 JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分  
車 広島自動車道広島北I.C.より20分



この事業は  
「国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-10)」が  
推奨する事業として認定を受けています。

ろうきん森の学校は、2005年から2024年まで20年間にわたって取り組む、労働金庫連合会と全国5つのNPOによる環境教育です。

労働金庫連合会 総合企画部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-5-15

Tel. 03-3295-9332 / Fax. 03-3295-9328

Mail rokinren\_mori@ho.rokinbank.or.jp

Web www.rokinren.com/csr/



森の学校

www.mori-gakko.net